

第3部 特別講演会

『新しい時代に構造エンジニアに もとめられること』

榎田 洋子 氏

1959年大阪府生まれ／1984 京都工芸繊維大学工学部住環境学科卒業／
1984-1988 川崎建築構造研究所／1989 桃李舎設立／1993 京都工芸繊維
大学大学院工芸科学研究科修士課程修了／2011 より岡山県立大学非常勤講師
／(一社)日本建築構造技術者協会関西支部副支部長

受賞作品

西有田タウンセンター（2006 J S C A賞作品賞）、志井のクリニック（2010
日本建築学会作品選奨）、豊崎の長屋（2010 都市住宅学会業績賞）、
Courtyard House 湯里（2011 大阪市ハウジングデザイン賞）、行橋の住宅
（2015 日本構造デザイン賞、日本建築学会作品選奨）、春日の住宅（2016
日本建築学会作品選奨）

1. 桃李舎のこと

女性エンジニアによる構造設計事務所

ワークライフバランスからワークライフフュージョンへ



- 働き続けることができる場の提供
- 働き方は自分で決める
→フレックス・在宅勤務
- 収入の分配は合議で決める
→モチベーションの向上
- みんなでスキルアップ

2. 伝統的な構法で建てられた木造の耐震改修

- 文化財・保存から活用へ
- 戦前長屋のリノベーション
- 限界耐力計算による性能評価

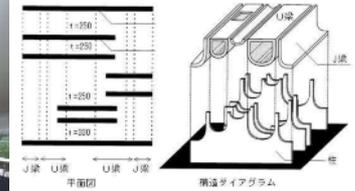


豊崎長屋(戦前長屋)・・・リブフレームを使った補強

額の津ミュージアム(蔵の改修)

3. 構造デザイン

行橋の住宅 特徴的な曲面の天井は、建物を縦走するJ字型とU字型のRCの梁である。この曲面は構造的な合理性と、音や光を柔らかく拡散する役割を備えている。



(意匠設計：MKSアーキテツツ 写真：岡本公二)

4. CLTへの挑戦



銘建工業(株)新社屋(岡山県真庭市 設計：MKSアーキテツツ+桃李舎) 2019年12月末に完成予定

